

◆森林保全活動

令和4年11月4日（金）

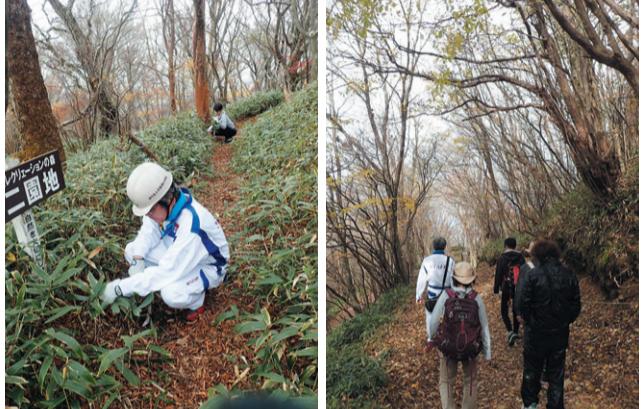
【場所】石鎚山成就地区 第2園地周遊道

コロナ禍を考慮して、前年に続き、事務局スタッフ6名で実施しました。今回はスタッフの知己で「自然と戯れることが好き」で、チーンソーも受講して使用できるという、即戦力のゲストお1人にもご参加いただき、秋晴れの成就地区でご一緒に心地良い汗を流しました。

コロナ禍も3年を迎え、ある意味では落ち着いたのか、お山を目指す人々は多く、平日ながら下山時は登山道でバスツアーの団体さんともすれ違い、ロープウェイは臨時便乗車となりました。

前年と同じく第2園地の周遊道のササ刈りと風倒木除去となりましたが、やはりこの園地を散策する人は今も少ないので、ササが膝近くまで道を覆っていました。それでも時間内に、周遊道一週のササ刈りが完了。倒木の除去も行い、達成感を味わいました。

次回こそは以前のように友好団体にもお声掛けし、当該事業を催行したいものです。ササ刈りが終り、広くなった周遊道に少し肌寒いお山の風が爽やかに流れています。



* * * ご支援ありがとうございます * * *

正会員61名

/年会費5千円

賛助会員43名

/年会費3千円

団体会員3団体

/年会費3万円

(令和5年7月末現在)

団体会員様（順不同）

セキ(株)

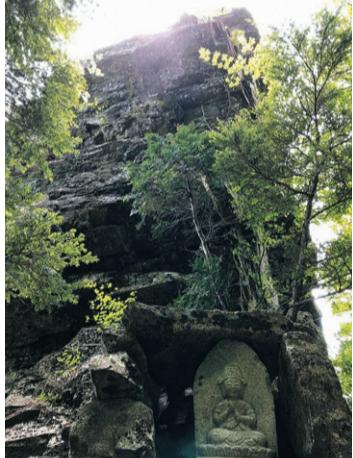
(有)石鎚観光

(株)愛媛銀行

石鎚山の伝承

天柱石

目通り40メートル、高さ78メートルといわれる巨石柱。お塔谷にあってお塔石とも呼ばれ、大日如来とも称えられます。この場で役行者が修行し、弘法大師が護摩を修したと伝わり、第二十五御塔石王子社が祀られています。



シカの侵入を知る手がかり「食痕」

増加したシカ（ニホンジカ）が植物を食べることによって、石鎚山系東端の笛ヶ峰一帯で大きな被害をもたらし、その一部はすでに瓶ヶ森を越えて岩黒山あたりまで到達しています。また加茂川の中・下流域でも点々とシカによる食害が確認されています。シカ被害は、寄せる波のように面的に拡大するのではなく、伐採跡地や廃止林道などに集中して飛び火状に発生しているようです。

実際に山道を歩いてもシカと遭遇することは多くはありません。でもシカが好む植物（嗜好植物）の齧り跡（食痕）があればシカの存在が確認でき、食痕の多さでシカ密度がある程度分かります。

シカの数が過密になるとシカの口の届く高さまでの枝葉がぜんぶ食べられてしまい、ディアライン（摂食線）が見られます。そうなると林内は見通しが良くて歩きやすくなりますが、地面を覆っていた草木がなくなり、大雨が降ると土壌が流出する危険が高まります。

今回はシカの侵入を知る手掛かりとして「食痕」について紹介します。

石鎚森の学校 2023夏 ブナの森の自然観察会

令和5年8月13日（日）

12名の皆さんにご参加いただき、恒例の夏の自然観察会を4年ぶりに実施しました！前後数日は台風の心配がありましたが、当日は安定した天候で、イベントでは人々に成就地区から頂上を望むことができました。

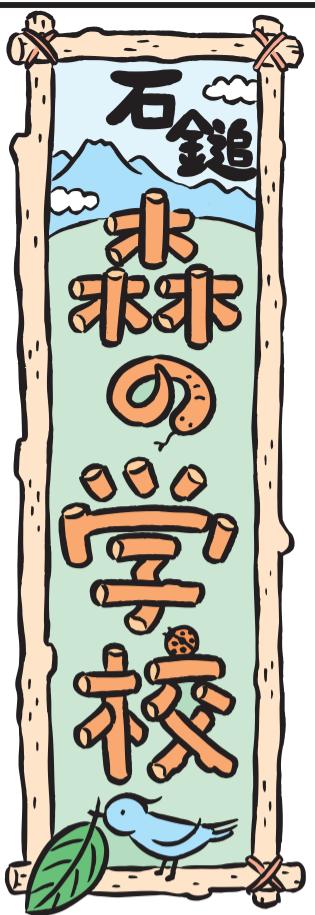
ロープウェイ山頂駅からピクニック園地を経由し、リフトも利用して成就社境内へ。講師の北添伸夫さん・曾我部事務局長から、生きものや石鎚山の伝承などの解説を受けながら森を進みます。ヒヨドリバナが咲き始め、数頭のアサギマダラも飛来していました。ホトトギスやハガクレツリフネなどおなじみの植物も開花し、目を楽しませてくれました。

ただ、心配なのは徐々に増えてきたニホンシカの痕跡。登山道沿いでもリョウブに樹皮剥ぎが見られました。昨年11月に確認して以降、確実に広がっている様子です。

長年成就地区で自然観察をしていると自然環境の変化も見えてきます。将来にわたり、このブナ・ミズナラの森が豊かであって欲しいと願いつつ、閉会式での皆さんの笑顔での振り返りを聴きました。これからも何度も足を運び、石鎚山の様々な表情に出会っていただきたいです。



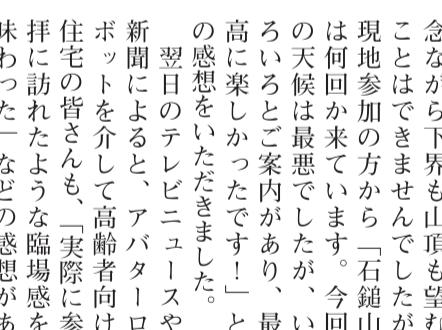
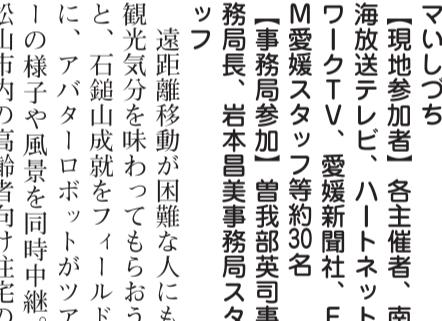
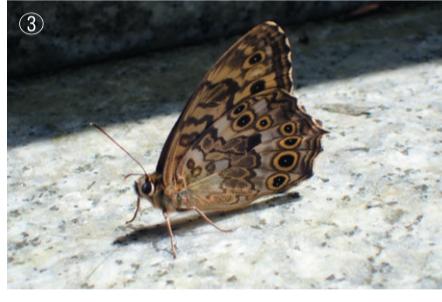
①咲き始めたキレンゲショウマ ②シカが忌避するシコクブシ ③ヤマキマダラヒカゲ ④成就社境内から望む山頂 ⑤ピクニック園地で開会 ⑥ガイドの一コマ ⑦リフトでの移動、爽快でした！



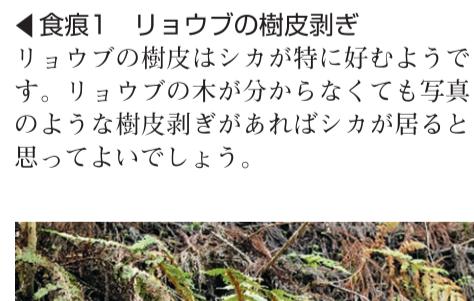
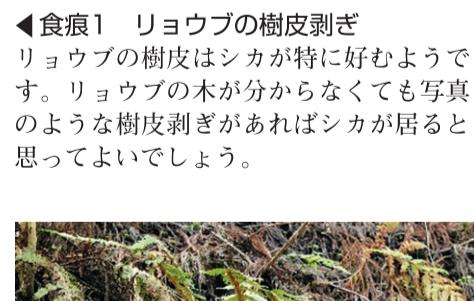
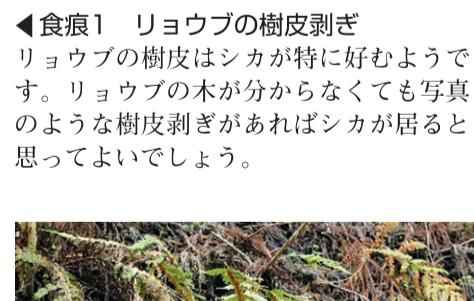
【石鎚森の学校】VOL.19

2023年度号

発行日 2023年9月
制作 NPO法人 石鎚森の学校
〒793-0062 西条市西田甲797番地
Tel & Fax 0897-52-5275
URL <http://ishizuchi.net/>



シカ被害の激しいところに見られるディアライン



（松井宏光 石鎚森の学校理事、愛媛植物研究会会長）

アバターロボット導入による観光実証プロジェクト

令和5年7月20日（木）
【主催】愛媛経済同友会、日本政策投資銀行（東京）、avatari n

（ツアーキャンペーン）

（株）ソラヤ

マイシズチ

【現地参加者】各主催者、南

海放送テレビ、ハートネット

ワークTV、愛媛新聞社、F

M愛媛スタッフ等約30名

【事務局参加】曾我部英司事務局長、岩本昌美事務局スタッフ

ツアーキャンペーン

（株）ソラヤ

マイシズチ

【現地参加者】各主催者、南

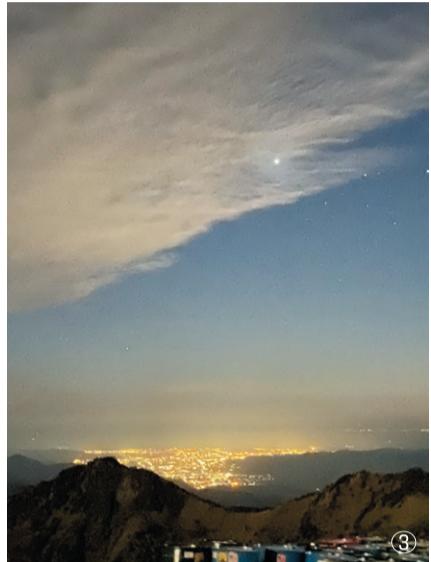
海放送テレビ、ハートネット

キャロ＆タカコの初夏頂上泊の風景

令和5年6月4日～5日、当団体スタッフ2名が登拝し、山頂に一泊しました。可憐な高山植物に迎えられ、刻々と変わる大空を堪能。お山の表情をシェアします。



①



③



④



⑤



⑦

①頂にある鳥居越しの大空 ②天狗岳上空の満月。
6月の満月はストロベリームーンというそうですよ。
雰囲気ありますね ③夜がふけ、輝く松山方面
④マイヅルソウ ⑤頂上本殿横の岩座に咲くイワカ
ガミ ⑥同じくシコクハタザオ ⑦土小屋方面から
望む山頂



⑥

石鎚山系ガイド養成研修会

令和5年1月31日（火）

【場所】石鎚登山ロープウェイ下谷駅～ピクニック園地経由～成就社境内～同行下山

【主催】石鎚山系エコツアーガイドクラブ

【講師】NPO法人西条自然学校、NPO法人石鎚森の学校/曾我部英司事務局長

【参加者】講師含め計17名

石鎚山系エコツアーガイドクラブによる石鎚山系ガイド養成研修会の講師を担当させていただきました。当日は、積雪30センチ～40センチ、気温は氷点下ながら成就地区には霧氷が咲き、終日冬の青空に石鎚山頂が映える絶好のコンディション。ご参加の皆さん全員、研修とはいえ清々しい冬の成就地区を体感されたことと思います。

プログラムは、ロープウェイ山頂駅舎からピクニック園地、奥前神寺経由で成就地区までの自然を西条自然学校が担当。普段人が歩かないルートには新雪の降り積んだ雪に、ウサギ、テン、タヌキや野ネズミなどの足跡が散見できました。こうした小動物の足跡を観られるのは、積雪時の観察会の楽しみの一つです。

そして成就地区的白石旅館で昼食後、曾我部事務局長へと担当が移り、先ず石鎚信仰や神社についての座学。続いて、屋外で成就社境内の社殿や遙拝殿にある石鎚山を開山した役行者像などを観ながら解説を進めてきました。今回の依頼は「神職が教える石鎚神社の今更聞けない話」。昨年も別のツアーでのタイトルで講話依頼を受け、好評を博していました。その後、登山道沿いをそれぞれが観察をしながら下山、閉講となりました。



氷点下の森の自然観察&雪遊び♪

伊予銀行環境基金「エバーグリーン」活用事業

令和5年2月18日(土)～19日(日)

コロナ禍のため停止していた恒例の1泊2日の冬イベントを3年振りに催行し、スタッフを含めて総勢19名が石鎚山成就の冬を体感しました。近年暖冬の影響で、積雪量も減少傾向ですが、初日は雪のある登山道をリフトを経由して、自然観察をしながら成就社境内へと向かいました。境内には前日までに降り積もった雪や社殿から落ちてたまつた雪がけっこうあって、カマクラや雪像作り、雪合戦、ソリ滑りなど、大人も子どももお山の冬を存分に楽しむことができました。また、屋内では講師の北添さんから、デジカメの上手な撮り方や冬の星空のレクチャーを受けました。

両日ともに2月にしてはかなり暖かく、気温が氷点下に下がることもなく、プラス3度以上。2日目は残念ながら早朝からなんと雨・・・。屋外での活動ができなくなりましたが、成就社の朝拝参列体験、石鎚山のビデオ観賞やウルトラクイズで盛り上がりました。

今回は天候・気温の関係でシャボン玉の氷結実験や動物の足跡発見散策、またスノーシューウォークなどができませんでしたが、ご参加の皆様の「ふりかえり」での感想から石鎚山成就での冬の1泊2日の体験をそれぞれに楽しんでいただけたようでした。



愛媛県石鎚山系生物多様性保全推進協議会

令和4年度活動報告会

「静かに広がっているシカ問題～その現状と対策～」



令和5年2月21日(火)、愛媛県農林水産研究所(松山市上難波)にて標記協議会が開催され、協議会関係団体等約70名が参加、当団体からは曾我部英司事務局長、岩本昌美・黒河由佳事務局スタッフが参加しました。

冒頭、「シカ食害で痛む四国山地の森～再生への道と課題～」と題して、西日本科学技術研究所、「三嶺の森をまもるみんなの会」押岡茂紀さんより

基調講演があり、剣山山系・三嶺山域のシカ被害と、その対策となる「三嶺の森をまもるみんなの会」の活動紹介、石鎚山系におけるシカの分布と被害に関するお話をありました。その後各部会の活動報告が行われました。

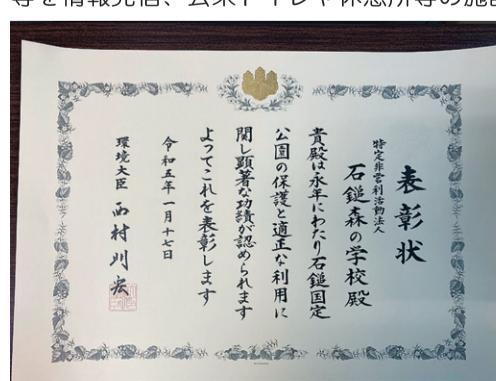
石鎚山系でもシカの食害により、土壤・土砂の流失等が懸念され、本協議会でも防鹿ネット設置やモニタリング調査等の対応策が進められています。

令和4年度自然公園関係功労者 環境大臣表彰を受賞

本来なら東京の環境省での表彰式となりますが、コロナ禍のため、3月1日に愛媛県東予地方局において同局長様より当該表彰状と記念品を伝達していただきました。

全国で19件、そのうち団体は森の学校1件でした。有り難うございます。今まで当法人の活動を支えていただいた会員の皆様、関わってくださった全ての方々、友好団体、そして事務局を置かせていただいております石鎚神社関係各位、さらには所轄庁ご担当氏に篠く深く御礼申し上げます。

表彰理由は、「平成17年より、石鎚国定公園において、石鎚山の有する自然や伝統文化等を情報発信、公衆トイレや休憩所等の施設整備、登山者の安全を確保等、自然保全思想



の普及啓発及び自然公園内の事故防止活動等に尽力した」とあります。これを励みに、これからも命を育む水源の森を発信し、その自然を体感する機会を提供すべく、活動をつづけてまいります。